



## MasterConsole CAT®

### クイック セットアップ ガイド (MCCAT28/216)

2 ユーザ用 MasterConsole CAT (MCCAT) をお買い上げいただきありがとうございます。当製品は、もっとも使いやすい 1U KVM スイッチです。このクイック セットアップ ガイドでは製品をインストールする方法について説明します。すばやく簡単にインストールするために、慎重に手順に従ってください。

MasterConsole CAT MCCAT28/216 の詳細については、『MasterConsole CAT MCCAT28/216 ユーザ ガイド』を参照してください。このマニュアルは、ラリタンの Web サイト (<http://www.raritan.com/support/firmware-and-documentation/>) の [Firmware and Documentation section] セクションからダウンロードできます。

### パッケージの内容

ご購入いただいたパッケージによっては、MCCAT ユーザ ステーションが含まれていない場合があります。MCCAT28-UST または MCCAT216-UST をお求めいただいた場合は、パッケージにユーザ ステーションが含まれます。

- MCCAT スイッチ x 1
- 電源コード x 1
- ラックマウント キット x 1 (ブラケットとネジが付属)
- クイック セットアップ ガイド x 1
- 保証書 x 1
- MCCAT ユーザ ステーション パッケージ (オプション)

不備または破損品がある場合は、お近くの販売店またはラリタンのテクニカル サポートまでお問い合わせください。

注 :ユーザ ステーションのパッケージの内容については、MCCAT ユーザ ステーションに同梱の『クイック インストールおよびセットアップ ガイド』を参照してください。

### 参照するセクションについて

MCCAT28 と MCCAT216 は同じ機能を備えています。唯一の相違点はチャンネル ポートの数です。MCCAT28 のポ

ート数は 8 個、MCCAT216 のポート数は 16 個です。いずれの製品を使用した場合にも、単体の MCCAT スイッチで構成される MCCAT の 1 段カスケード システム、または複数の MCCAT スイッチで構成される MCCAT の 2 段カスケード システムを設定できます。設定するシステムのタイプに応じて、参照するセクションが異なります。

ラックに MCCAT スイッチを設置する必要がある場合は、以下のセクションを参照してください。

- **MCCAT スイッチのラック マウント** 『p. 2』

1 段カスケード システムの場合は以下のセクションを参照してください。

- **基本的なインストール** 『p. 3』
- **ログイン** 『p. 8』
- **コンピュータまたはチャンネルへのアクセス** 『p. 9』
- **ログアウト** 『p. 10』

2 段カスケード システムの場合は以下のセクションを参照してください。

- **2 段カスケード システムの設定** 『p. 5』
- **基本的なインストール** 『p. 3』
- **ログイン** 『p. 8』
- **コンピュータまたはチャンネルへのアクセス** 『p. 9』
- **ログアウト** 『p. 10』

## MCCAT スwitchのラック マウント

MCCAT スwitchは標準 19 インチの製品ラックの 1 U (1.75 インチ、4.4 cm) の縦位置スペースにマウントできます。ラックに MCCAT スwitchをマウントするには、装置に付属しているブラケットとネジ (P2-HUBPAC のブラケット用部品) を使用します。ラックの前面または背面のいずれにも、MCCAT スwitchをマウントできます。

### ケーブル サポート バーの接続 (オプション)

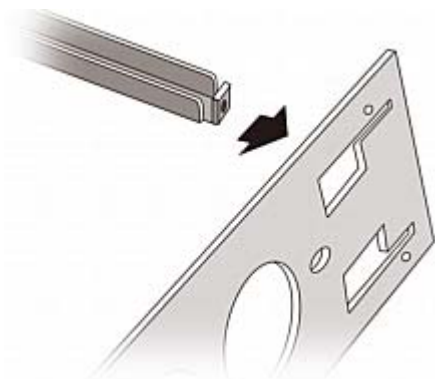
ケーブルの重量に不安がある場合は、2 つのラック マウント ブラケット間にケーブル サポート バーを設置し、MCCAT スwitchの背面に接続されたケーブルの重量を支えることができます。

MCCAT スwitchのマウント方法に応じて、ケーブル サポート バーを設置する位置は次のように異なります。

- MCCAT スwitchの前面パネルをラックの前面に向ける場合は、ラック マウント ブラケットの側面部から遠い L 型の穴に、ケーブル サポート バーを固定します。
- MCCAT スwitchの前面パネルをラックの背面に向ける場合は、ラック マウント ブラケットの側面部に近い L 型の穴に、ケーブル サポート バーを固定します。

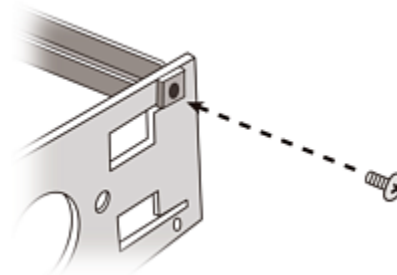
#### ▶ ケーブル サポート バーを設置するには、以下の手順に従います。

1. L 型の穴の上部に面した、または L 型の穴の下部にあるくぼんだスロットを使って、ケーブル サポート バーの一端を、ラック マウント ブラケットの L 型の穴に押し込みます。

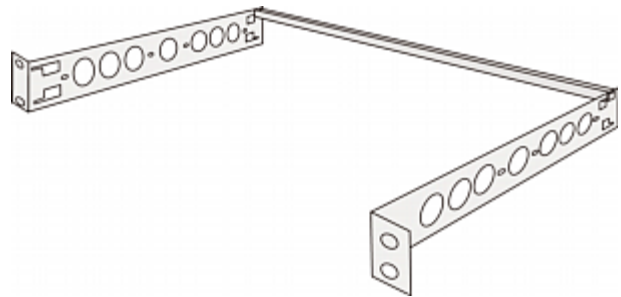


2. ケーブル サポート バーを上限に動かし、くぼんだスロットが上部の L 型の穴の上辺、または下部の L 型の穴の下辺にはまるようにします。
3. L 型の穴の端までバーをスライドさせ、バーの穴と L 型の穴の上下にあるネジ穴が合うようにします。

4. 付属の押さえネジでケーブル サポート バーをしっかりと固定します。



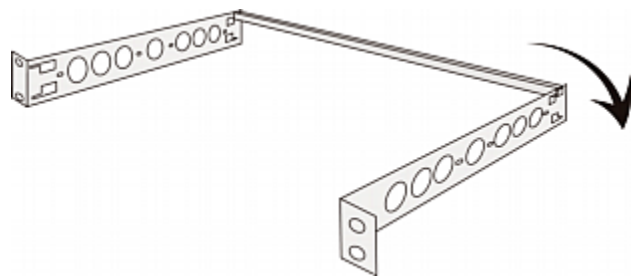
5. 手順 1 ~ 4 を繰り返し、ケーブル サポート バーのもう一方の端を他のラック マウント ブラケットに固定します。



ケーブル サポート バーを固定した後、ブラケットの部品を MCCAT スwitchに設置して、ラックにデバイスをマウントすることができます。「**前面マウント**」[p. 2]または「**背面マウント**」[p. 3]を参照してください。

#### ▶ ブラケットの部品を MCCAT スwitchに設置する前に

ケーブル サポート バーを L 型の上部の穴に設置する場合は、ブラケットの部品を上下逆にします。

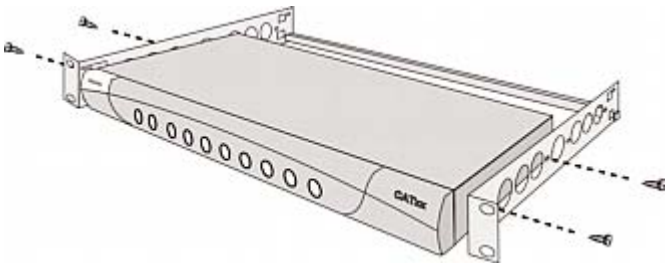


### 前面マウント

#### ▶ ラックの前方にある前面パネルに MCCAT スwitchをマウントするには、以下の手順に従います。

1. MCCAT スwitchの前面パネルとブラケットの側面を自分の方に向けます。

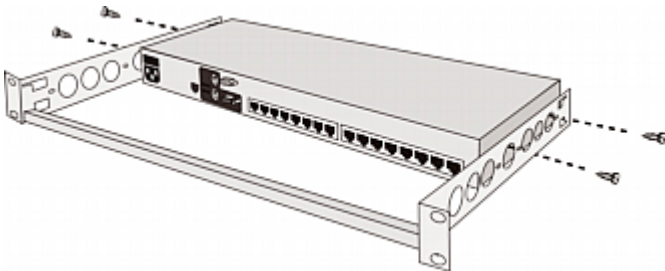
2. MCCAT スイッチの片側にある 2 つのネジ穴と、ブラケットの側面に近い楕円形の 2 つの穴が合うように調整します。
3. 付属のネジ 2 個を使って、MCCAT スイッチにブラケットをしっかりと固定します。
4. 1 ~ 3 の手順を繰り返し、MCCAT スイッチの反対側に他のブラケットもしっかりと固定します。
5. ラックにすべての部品をマウントし、ラック用のネジ、ボルト、ケーシング ナットなどを使って、ラック前面のレールにブラケットの側面をしっかりと固定します。



### 背面マウント

▶ ラックの背面にある前面パネルに MCCAT スイッチをマウントするには、以下の手順に従います。

1. MCCAT スイッチの背面パネルとブラケットの側面を自分の方に向けます。
2. MCCAT スイッチの片側にある 2 つのネジ穴と、ブラケットの側面から遠い楕円形の 2 つの穴が合うように調整します。
3. 付属のネジ 2 個を使って、MCCAT スイッチにブラケットをしっかりと固定します。
4. 1 ~ 3 の手順を繰り返し、MCCAT スイッチの反対側に他のブラケットもしっかりと固定します。
5. ラックにすべての部品をマウントし、ラック用のネジ、ボルト、ケーシング ナットなどを使って、ラック前面のレールにブラケットの側面をしっかりと固定します。



## 基本的なインストール

### 前提条件となる項目の準備

接続する前に、次のコンポーネントまたはデバイスを用意しておきます。

- MCIM または MCUTP ケーブル (各コンピュータに 1 本)
  - MCIM を使用する場合は Cat5 UTP ケーブルが必要です。

MCUTP ケーブルは Windows 98 オペレーティング システムとの互換性がありません。Windows 98 が稼働しているコンピュータでは MCIM を使用してください。

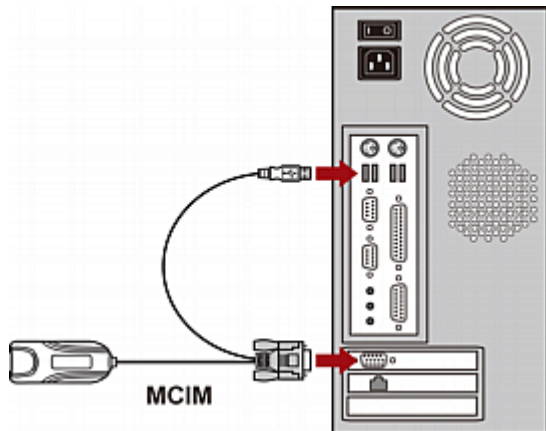
- 標準の PS/2 または USB キーボード (少なくとも 1 つ)
- 標準の PS/2 または USB マウス (少なくとも 1 つ)
- HD15 VGA コネクタ付属の標準モニター (少なくとも 1 台)

注：コンピュータが Sun サーバの場合、MCIM の代わりに Sun USB MCUTP ケーブルまたは DCIM-USB G2 を準備する必要があります。

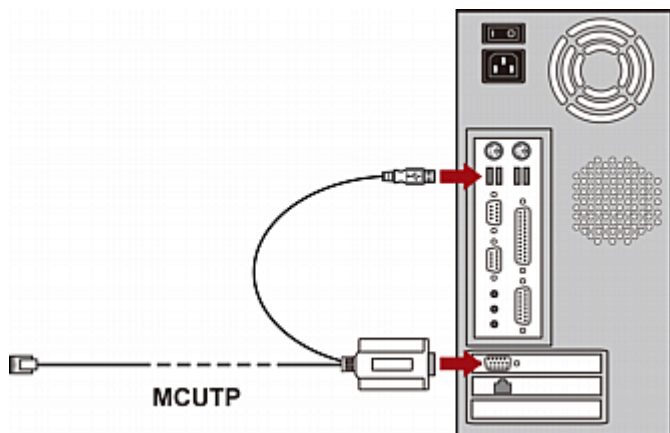
### 接続の確立

1. MCCAT スイッチおよびコンピュータなど、すべてのデバイスの電源をオフにします。
2. MCIM または MCUTP ケーブルをコンピュータに接続します。
  - MCIM-USB または USB MCUTP ケーブルを使用する場合：
    - a. MCIM または MCUTP の USB コネクタを、コンピュータで使用可能な USB ポートのいずれかに接続します。

b. MCIM または MCUTP のビデオ コネクタを、コンピュータの VGA ポートに接続します。



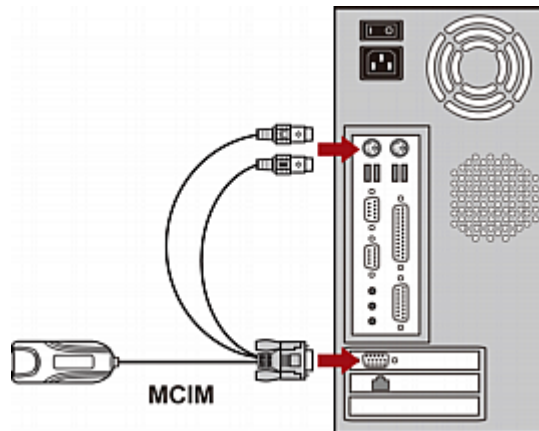
- または -



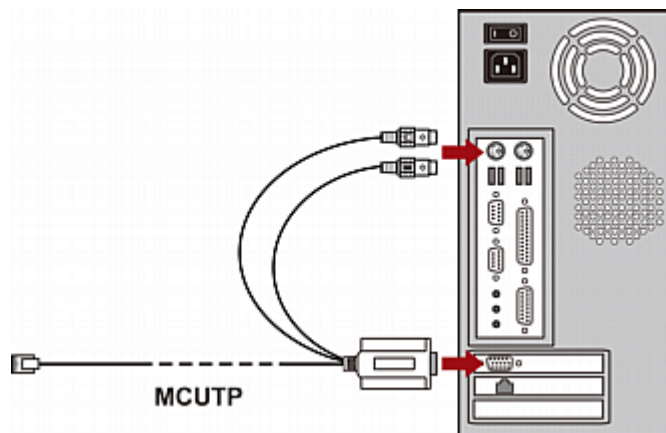
▪ MCIM-PS2 または PS/2 MCUTP ケーブルを使用する場合 :

- a. MCIM または MCUTP の PS/2 マウス コネクタを、コンピュータの PS/2 マウス ポートに接続します。
- b. MCIM または MCUTP の PS/2 キーボード コネクタを、コンピュータの PS/2 キーボード ポートに接続します。

c. MCIM または MCUTP のビデオ コネクタを、コンピュータの VGA ポートに接続します。



- または -



▪ Sun USB MCUTP ケーブルを使用する場合 :

- a. MCUTP の Sun USB コネクタを Sun サーバの使用可能な USB ポートのいずれかに接続します。
- b. MCUTP のビデオ コネクタを Sun サーバの VGA ポートに接続します。

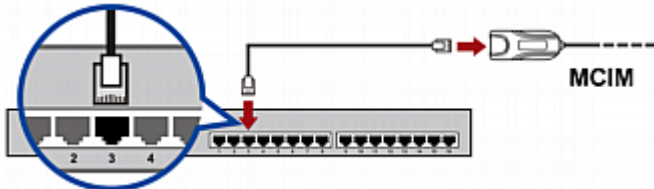
注 : 詳細については、ユーザ ガイドの「Sun サーバのサポート」を参照してください。

3. コンピュータを MCCAT スイッチに接続します。

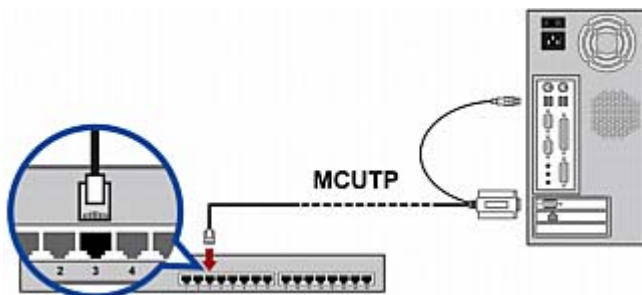
▪ MCIM を使用する場合 :

- a. Cat5 UTP ケーブルの一端をコンピュータに接続されている MCIM の RJ-45 ポートに接続します。

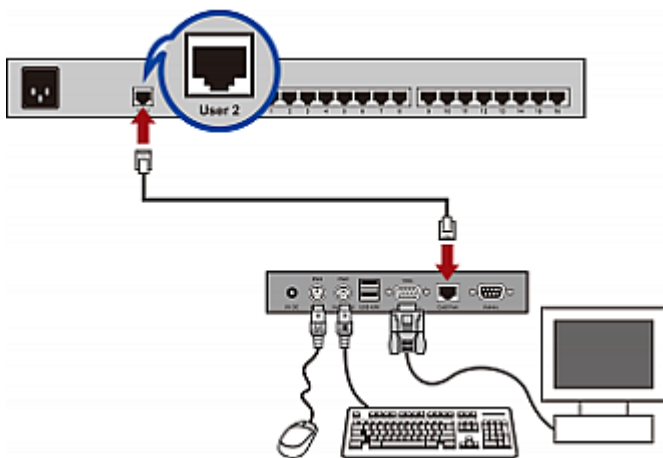
- b. Cat5 UTP のもう一方の端を MCCAT スイッチのチャンネル ポート的一端に接続します。



- MCUTP ケーブルを使用する場合 :
  - MCUTP ケーブルの RJ-45 コネクタを MCCAT スイッチのチャンネル ポートのいずれかに接続します。



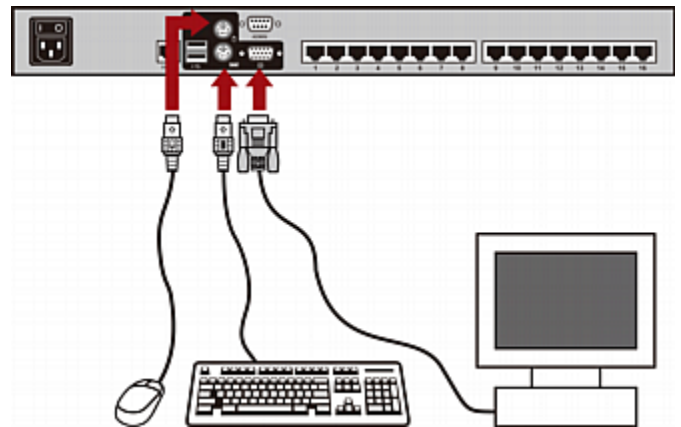
4. 複数のコンピュータを接続する場合は、手順 2 ~ 3 を繰り返します。
5. (オプション) 標準の Cat5 UTP ケーブル経由で MCCAT ユーザ ステーションを MCCAT スイッチの **User 2** ポートに接続します。詳細については、ユーザ ステーションに付属の『クイック セットアップ ガイド』または、『ユーザ ガイド』の「ユーザ ステーションの接続 (オプション)」を参照してください。



ヒント : MCCAT スイッチは Paragon II の拡張ユーザ ステーション、P2-EUST と互換性があります。P2-EUST デバイスをお持ちの場合は、MCCAT ユーザ ステーションの

代わりに P2-EUST を MCCAT スイッチに接続できません。

6. キーボード、マウス、およびモニタを MCCAT スイッチに接続します。
  - a. マウスのコネクタを、MCCAT スイッチの PS/2 または USB ポートに接続します。
  - b. キーボードのコネクタを、MCCAT スイッチの PS/2 または USB ポートに接続します。
  - c. モニタの VGA コネクタを MCCAT スイッチの VGA ポートに接続します。



警告 : PS/2 キーボードと USB キーボード、または PS/2 マウスと USB マウスをそれぞれ同時に接続しないでください。同時に接続した場合、正しく動作するのは USB キーボードとマウスのみです。

7. MCCAT システムのすべてのデバイスに適切な電源コードを接続してください。
8. 接続しているコンピュータとモニタの電源をオンにします。
9. MCCAT スイッチの電源をオンにします。

## 2 段カスケード システムの設定

2 段カスケード システムを設定するには、基本的には次の 5 つの手順があります。

- 手順 (A):MCCAT スイッチを 2 段目のデバイスとして設定する
- 手順 (B):2 段目の MCCAT スイッチをベース スイッチに接続する
- 手順 (C):入出力デバイスをベース スイッチに接続する

- 手順 (D): OSD で 2 段目のデバイスの種類を指定する
- 手順 (E): コンピュータを MCCAT システムに接続する

#### 手順 (A):MCCAT スイッチを 2 段目のデバイスとして設定する

各 MCCAT スイッチは、デフォルトでベース スイッチとして設定されています。2 段カスケード システムを設定するには、設定しようとしている MCCAT スイッチのデフォルト プログラムを 2 段目のデバイスとして設定するように変更する必要があります。

#### ▶ MCCAT スイッチを 2 段目のデバイスとして設定するには、以下の手順に従います。

1. MCCAT スイッチの電源をオフにします。
2. 前面パネルのチャンネル番号 2 のボタンを押したまま、同時に MCCAT スイッチの電源をオンにします。
3. ビープ音が鳴るまでチャンネル番号 2 のボタンを押し続けます。
  - TIER LED が常時点灯し、MCCAT スイッチが 2 段目のデバイスとして設定されたことを示します。
4. 1 ~ 3 の手順を繰り返し、その他の MCCAT スイッチのプログラムを変更します。

注 : 2 段目のデバイスをベース スイッチに設定し直すには、上記と同じ手順で、代わりにチャンネル番号 1 のボタンを押します。TIER LED の灯りが消えれば、デバイスはベース スイッチとして設定し直されたことになります。

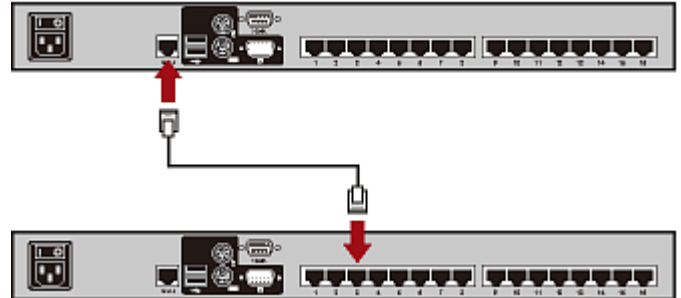
#### 手順 (B):2 段目の MCCAT スイッチをベース スイッチに接続する

2 段目のデバイスとして設定されている MCCAT スイッチを MCCAT ベース スイッチに接続します。システムで異なる MCCAT モデルを混在させることができます。たとえば、MCCAT28 スイッチを MCCAT216 ベース スイッチに接続できます。

#### ▶ 2 段カスケード式の KVM スイッチを構成するには、以下の手順に従います。

1. すべての MCCAT スイッチとベース スイッチの電源をオフにします。
2. Cat5 UTP ケーブル経由で 2 段目の MCCAT スイッチをベース スイッチに接続します。
  - a. Cat5 UTP ケーブルの一方の端を 2 段目の MCCAT スイッチの **User 2** ポートに接続します。

- b. Cat5 UTP ケーブルのもう一方の端をベース スイッチのチャンネル ポートの一端に接続します。



ヒント : "1 ユーザ用" MCCAT スイッチをベース スイッチに接続することもできます。『ユーザ ガイド』の「MCCAT18/116 スイッチをベース スイッチに接続する方法」を参照してください。

3. 上記の手順を繰り返し、その他の 2 段目の MCCAT スイッチをベース スイッチに接続します。
4. すべての 2 段目のデバイスの電源をオンにします。
5. 2 段目のデバイスのビープ音が聞こえたら、ベース スイッチの電源をオンにします。

**重要 :** ベース スイッチの電源を入れる前に必ず 2 段目のデバイスの電源をオンにして、ベース スイッチが 2 段目のデバイスから最新のチャンネル データをダウンロードできるようにしてください。

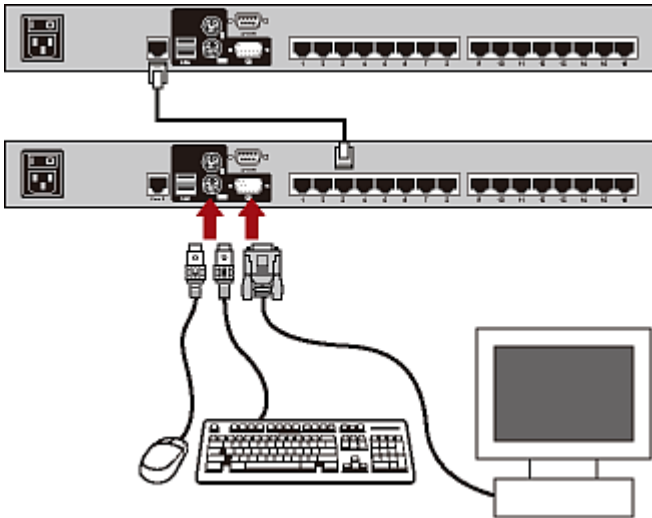
#### 手順 (C):入出力デバイスをベース スイッチに接続する

入出力デバイス (キーボード、マウス、モニタ) をベース スイッチに接続する方法には、次の 2 種類があります。

- ベース スイッチに直接接続する。
- ベース スイッチに接続されているユーザ ステーションに接続する。

▶ 入出力デバイスを直接ベース スイッチに接続するには、以下の手順に従います。

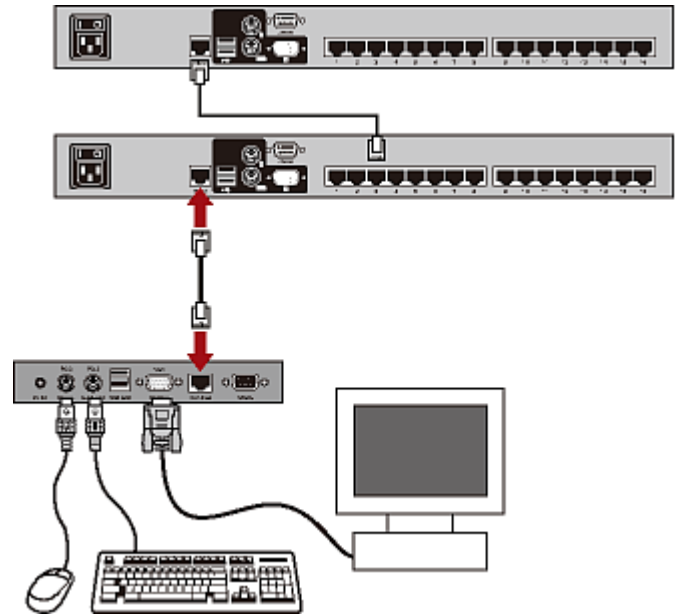
PS/2 または USB キーボード、マウス、VGA モニタを、ベース スイッチに接続します。詳細については、「**接続の確立**」『p. 3』の**手順 6** を参照してください。



▶ ユーザ ステーション経由で入出力デバイスをベース スイッチに接続するには、以下の手順に従います。

1. PS/2 または USB キーボード、マウス、VGA モニタを、MCCAT ユーザ ステーションに接続します。

2. MCCAT ユーザ ステーションをベース スイッチに接続します。詳細については、ユーザ ステーションに付属の『**クイック セットアップ ガイド**』または、『**ユーザ ガイド**』の「ユーザ ステーションの接続 (オプション)」を参照してください。



注 : 入出力デバイスを "2 段目のデバイス" に直接接続することもできます。2 段目のデバイスに直接接続されている入出力デバイスを操作する "ローカル" ユーザは、操作する 2 段目のデバイスのチャンネルにのみアクセスできます。

手順 (D): OSD で 2 段目のデバイスの種類を指定する

MCCAT のベース スイッチは、チャンネル ポートに接続されているデバイスのタイプを検出できません。このため、[Channel Configuration (チャンネル設定)] サブメニューで正しいタイプを指定する必要があります。指定しないと、2 段目のデバイスのチャンネルへのアクセスで問題が発生します。

以下の表は、サポートされるデバイスの一覧です。

OSD オプション	デバイス タイプ
CPU	コンピュータまたはルータなどの非 KVM スイッチ デバイス
CAT18	MCCAT18 スイッチ
CAT116	MCCAT16 スイッチ
CAT28	MCCAT28 スイッチ

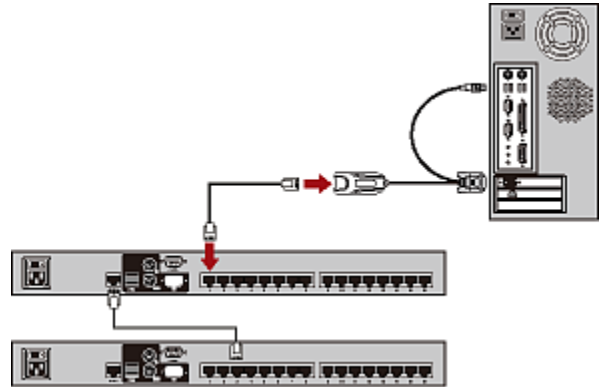
OSD オプション	デバイス タイプ
CAT216	MCCAT216 スイッチ

▶ デバイス タイプを指定するには、以下の手順に従います。

1. 画面に OSD が表示されていない場合は、ホット キー (デフォルト: Scroll Lock) をすばやく 2 回押して、OSD を起動します。
2. F5 を押します。[Administration Menu (管理メニュー)] が表示されます。
3. サブメニューの 3 番目にある [Channel Configuration (チャンネル設定)] を選択します。サブメニューを選択するには、3 を押すか、↓ を押してメニュー項目をハイライトし、Enter を押します。[Channel Configuration (チャンネル設定)] サブメニューが表示されます。
4. ↓ または ↑ を押して、変更するデバイス タイプのチャンネルをハイライトします。
5. Tab または → を押して、[Device (デバイス)] 列のフィールドを選択し、Enter を押します。ハイライトされた色が緑に変わります
6. 使用できるオプションを切り替えるには任意の矢印キーを押し、Enter を押して選択内容を確認します。ハイライトの色が黄色に変わります。
7. 2 段目のデバイスすべてに正しいデバイス タイプを指定できるまで、4 ~ 6 の手順を繰り返します。
8. S を押して変更を保存するか、Esc を押して現在のメニューまたはサブメニューを閉じます。
  - Esc を押すと、メッセージ バーに「Save the changes: [Y/N/ESC] (変更を保存しますか : [Y/N/ESC])」というメッセージが表示されます。変更を保存するには Y を、変更を中止するには N を、現在のメニューまたはサブメニューに戻るには Esc を押します。

### 手順 (E): コンピュータを MCCAT システムに接続する

ベース スイッチや 2 段目のデバイスのチャンネル ポートなど、システム内の KVM スイッチの使用可能なチャンネル ポートにコンピュータを接続できます。コンピュータに接続する手順については、「**接続の確立**」[p. 3]の手順 1 ~ 4 を参照してください。



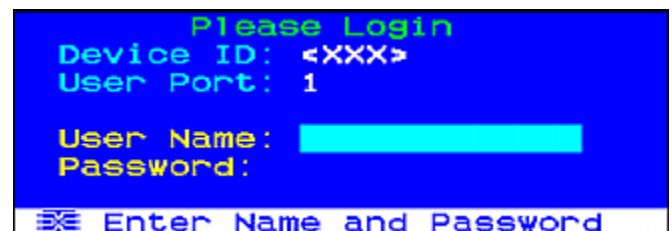
### ログイン

ログイン メカニズムにより、許可されていないユーザによるシステムへのアクセスや設定の変更を回避できます。任意のコンピュータにアクセスするには、いずれのユーザ アカウントでもログインできます。[Administration (管理)] メニューのシステム設定を行うには、管理者アカウントでログインする必要があります。

注：図の <XXX> はモデル名を表し、ご購入された製品に応じて変わります。

▶ MCCAT システムにログインするには、以下の手順に従います。

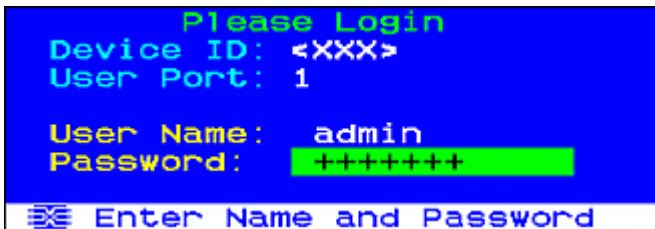
1. MCCAT システムの電源をオンにすると、画面に [Login (ログイン)] ボックスが表示されます。



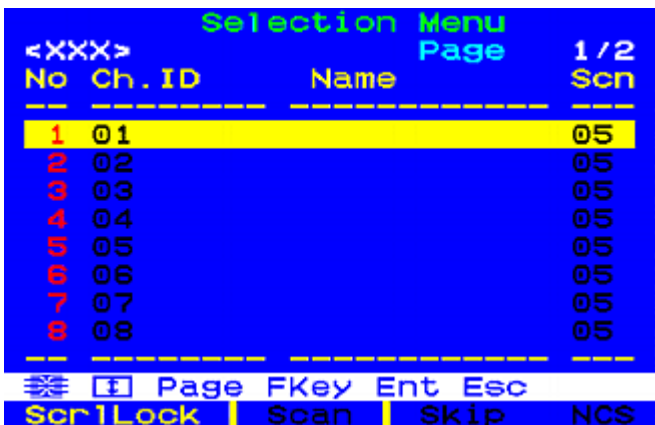
2. ユーザ名とパスワードを入力します。たとえば、管理者の場合、ユーザ名は「admin」、でデフォルト パスワードは「raritan」です。
  - a. [User Name (ユーザ名)] フィールドに「admin」と入力し、Enter を押します。



- b. [Password (パスワード)] フィールドに「raritan」と入力し、Enter を押します。パスワードは、大文字と小文字が区別されます。



3. ログインが成功したことを示す [Selection Menu (選択メニュー)] が表示されます。



**重要** :MCCAT システムを安全にご使用いただくために、デフォルト パスワードの変更を強く推奨します。詳細については、『ユーザ ガイド』の「パスワードの変更」を参照してください。

## コンピュータまたはチャンネルへのアクセス

ログイン後には、表示する任意のチャンネルを選択し、チャンネルに接続しているコンピュータを制御できます。使用するキーボード、マウス、モニタの設定に応じて、チャンネルの選択には 1 ~ 2 種類の方法があります。キーボード、マウス、およびモニタをこれ以降 "入出力デバイス" と呼びます。

- MCCAT スイッチに直接接続されている入出力デバイスを操作する場合は、以下のいずれかの方法を使用できます。
  - On-Screen Display (OSD) の [Selection Menu (選択メニュー)] または
  - 前面パネルのチャンネル ボタン

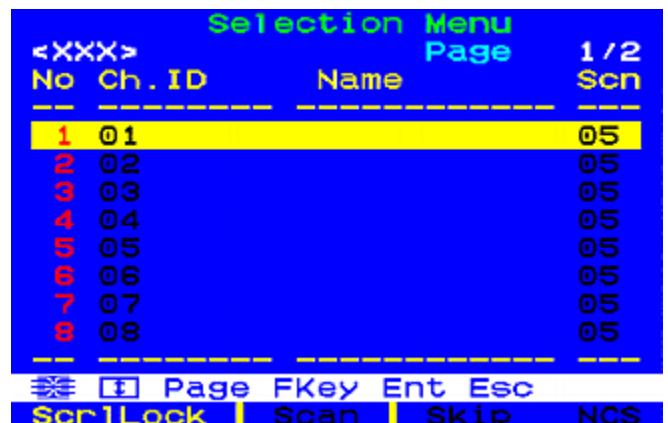
システムにログイン後、初めてチャンネルにアクセスするには、[Selection Menu (選択メニュー)] を使用する必要があります。

注 : 2 段カスケード システムでは、"2 段目" の MCCAT スイッチの前面パネルのすべてのボタンが無効になり、2 段目のデバイスで使用できるのは OSD のみです。

- MCCAT ユーザ ステーションに接続されている入出力デバイスを操作する場合は、以下の方法を使用できます。
  - OSD の [Selection Menu (選択メニュー)]

### [Selection Menu (選択メニュー)] の使用

ログイン後、最初に表示される OSD メニューは [Selection Menu (選択メニュー)] ですが、チャンネル名を割り当てない限りデフォルトではチャンネル名は表示されません。



▶ [Selection Menu (選択メニュー)] でチャンネルを選択するには、以下の手順に従います。

1. (オプション) 現在のページにチャンネルが見つからない場合は、Page Down または Page Up を押して、前後のページに移動してください。
2. ↓ または ↑ を押して、選択するチャンネルにハイライト バーを移動させます。

ヒント : チャンネルの [No (番号)] 列に表示された該当番号を押すと、そのチャンネルをすばやくハイライトできます。

3. Enter を押します。

[Selection Menu (選択メニュー)] が消えます。アクセスしたコンピュータのビデオが画面に表示され、キーボードとマウスでコンピュータを制御できます。

MCCAT スイッチはリアルタイムでチャンネルを検出しません。現在のコンピュータを切断してアクセスしている別のチャンネルに再接続しないでください。アクセス先チャンネルでマウス入力またはキーボード入力の問題が発生する可能性があります。問題が発生した場合、問題を解決するために [Selection Menu (選択メニュー)] でチャンネルを再選択してください。

▶ **[Selection Menu (選択メニュー)] で別のチャンネルを選択するには、以下の手順に従います。**

1. 画面に OSD が表示されていない場合は、ホット キー (デフォルト: Scroll Lock) をすばやく 2 回押して、OSD を起動します。
2. 別のチャンネルをハイライトし、Enter を押します。

[Selection Menu (選択メニュー)] の詳細については、『ユーザガイド』で「Selection Menu (選択メニュー)」を参照してください。

#### チャンネル ボタンの使用

前面パネルのボタンは、[Selection Menu (選択メニュー)] を使用してチャンネルにアクセスした後で起動します。MCCAT スイッチに直接接続されている入出力デバイス进行操作している限り、前面パネルのボタンを使用できます。

注 : 2 段カスケード システムでは、「2 段目」の MCCAT スイッチの前面パネルのすべてのボタンが無効になり、2 段目のデバイスで使用できるのは OSD のみです。

▶ **チャンネル ボタンを押してチャンネルを選択するには、以下の手順に従います。**

1. 画面上に OSD が表示されている場合は、表示されなくなるまで Esc を押します。
2. アクセスするチャンネルのボタンを押します。
  - MCCAT28 チャンネル ボタン



- MCCAT216 チャンネル ボタン



アクセスしたコンピュータのビデオが画面に表示され、キーボードとマウスでコンピュータを制御できます。

#### ログアウト

MCCAT システムでのタスクの完了後は、システムからログアウトして、アクセスを許可されていない人がシステムにアクセスできないようにする必要があります。

▶ **MCCAT システムからログアウトするには、以下の手順に従います。**

1. 画面に OSD が表示されていない場合は、ホット キー (デフォルト: Scroll Lock) をすばやく 2 回押して、OSD を起動します。
2. F9 を押します。

[Login (ログイン)] ボックスが表示され、正常にログアウトしたことが表示されます。

#### 詳細情報

MCCAT およびラリタン製品ラインの詳細については、ラリタンの Web サイト ([www.raritan.com](http://www.raritan.com)) を参照してください。技術上の問題については、ラリタンのテクニカル サポートまでご連絡ください。世界各地のテクニカル サポートの連絡先情報については、ラリタンの Web サイトの [Contact Support (サポートの連絡先)] ページのサポート セクションを参照してください。